

### 課題 3 (成績処理に Excel を使う) に対する追加ヒント

- (1) ある一つのセルに関数を「埋め込む」と、そのセルの右隅(ポインタの形が太い十になる)をドラッグする操作で他のセルの範囲まで選択すれば、当該の関数はドラッグされたすべてのセルに自動的にコピーされます(「オートフィル機能」といいます)。なお、「ことば」は、Word でも、Excel でも、何でも!・・・(ア) 同じ「インターフェイス」といいます)の「メニュー」バー中「ヘルプ」内の「ヒント」を使うか、あるいは、(イ) Web でも、そのことばを入力して、意味などを調べることができます。

有用な URL は、例えば、<http://www.yahoo.co.jp/> 内の「辞書」、<http://www.msn.co.jp/home.armx> の「英和」「和英」「エンカルタ」など。特に「コンピュータ用語」については、「デジタル用語辞典」(<http://yougo.ascii24.com/>)があります。ただし、ことばにはあまり神経質にならないこと。

- (2) 「並べ替え」は、「メニュー」バーの中の「データ」ツールにある「並べ替え」で行えます。その際に、「オプション」を適切に使うことによって、「行」の並べ替えのみではなく(例えば、成績の合計の高い順にという場合)、「列」の並べ替え(例えば、算数、国語などの平均点の高い順など)も、できます。いろいろ、自分でトライしてみることが必要です。トライあるいは試行錯誤の際に、自分が何をしているか(何を選択したか、どんな操作をしたかなど書き留めておけば、問題が起こった時に、修復などすることができます。つまり、たびたび、「何か変になった」、という声を聞きますが、そんなことは、絶対に(!)、ありません。「変になる操作」を、あなたが、したのです。コンピュータは、あなたの指定した操作や命令通りに、動きます。改めて、コンピュータが、勝手な動作を自分ですることは、ウィルスなど入っていない限り、絶対に、ありません。

- (3) 「グラフ」は、「メニュー」バーの「挿入」ツール内の「グラフ」を選択する「グラフウィザード」を使います。あるいは、「ツール」バーの「グラフウィザード」を使っても、できます。

以上

#### 参考図書

- (1) 実教出版編集部、2004、30 時間でマスター Office2003- CD-ROM 付き-, 実教出版、259pp。  
(IE Ver6, Word2003, Excel2003, PowerPoint2003, Outlook2003, Picture Manager を網羅。加えて、CD-ROM が付いて、1,100 円とは安い!)
- (2) 山口弘明、1994、プレゼンテーションの進め方、日経文庫、188pp.

以上